

学校体育施設の有効活用について

令和4年2月16日
スポーツ庁



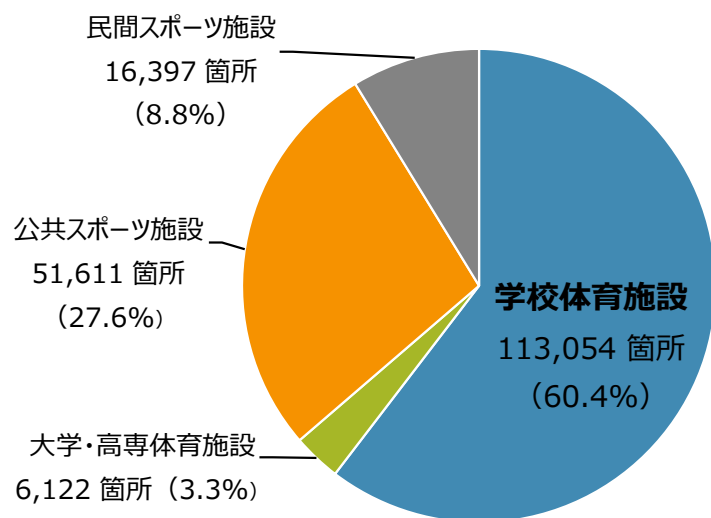
1

学校体育施設の有効活用の現状

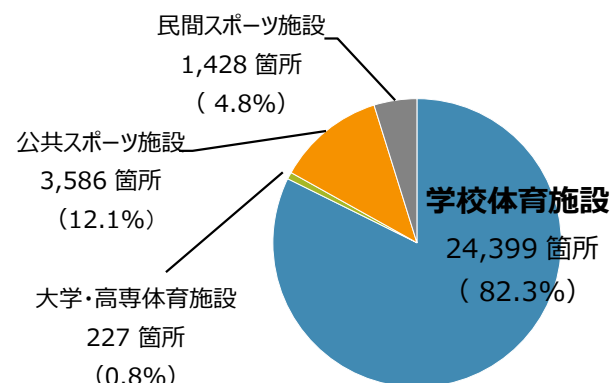
我が国の体育・スポーツ施設における「学校体育施設」の状況

- 我が国の体育・スポーツ施設全体の中で、学校体育施設が約6割を占めています。水泳プール、体育館、多目的運動場といった主要な施設種別では約8割を占めています。
- 地域におけるスポーツの場として、学校体育施設の有効活用を一層進めることが重要となっています。

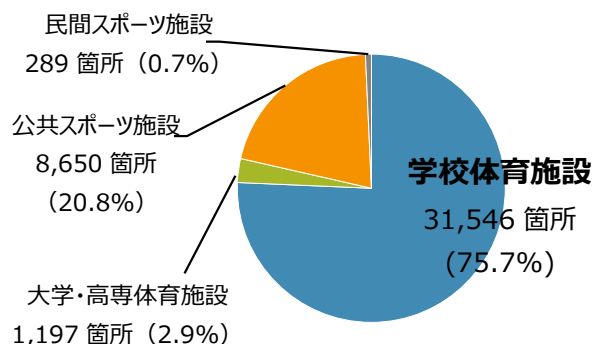
我が国の体育・スポーツ施設数（平成30年10月1日現在）



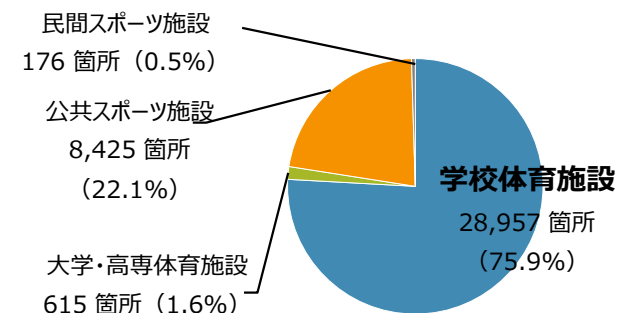
水泳プール施設数（平成30年10月1日現在）



体育館施設数（平成30年10月1日現在）



多目的運動場施設数（平成30年10月1日現在）

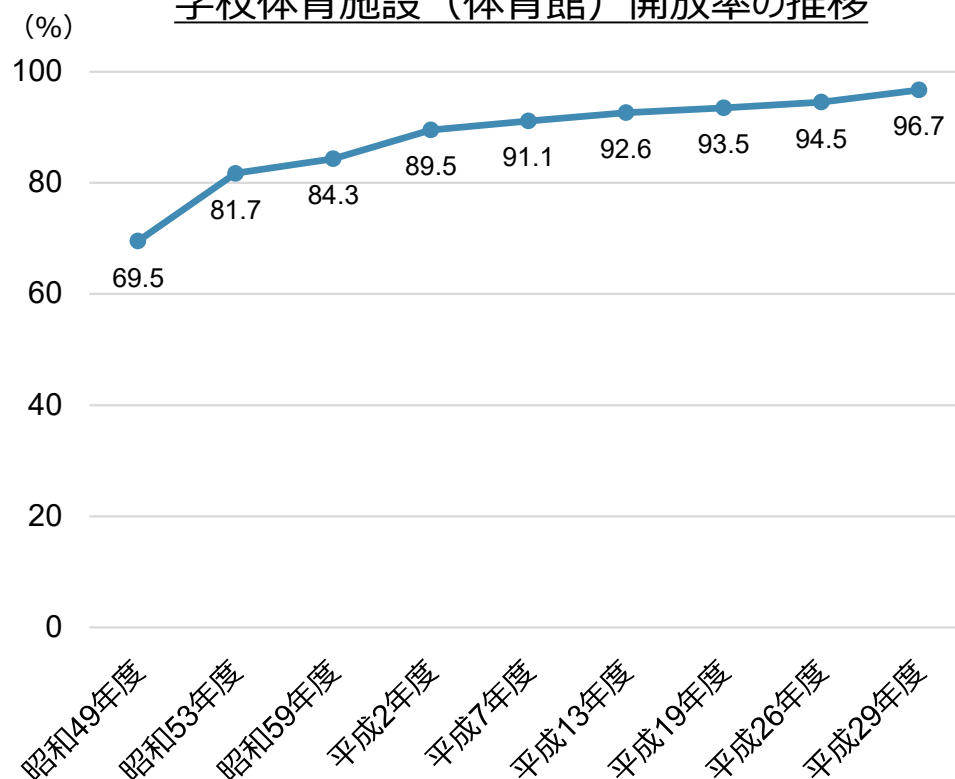


※「学校体育施設」とは、公（組合立を含む）私立（株式会社立を含む）の小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、各種学校の体育・スポーツ施設を指す。
（出典）スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」

学校体育施設の開放状況

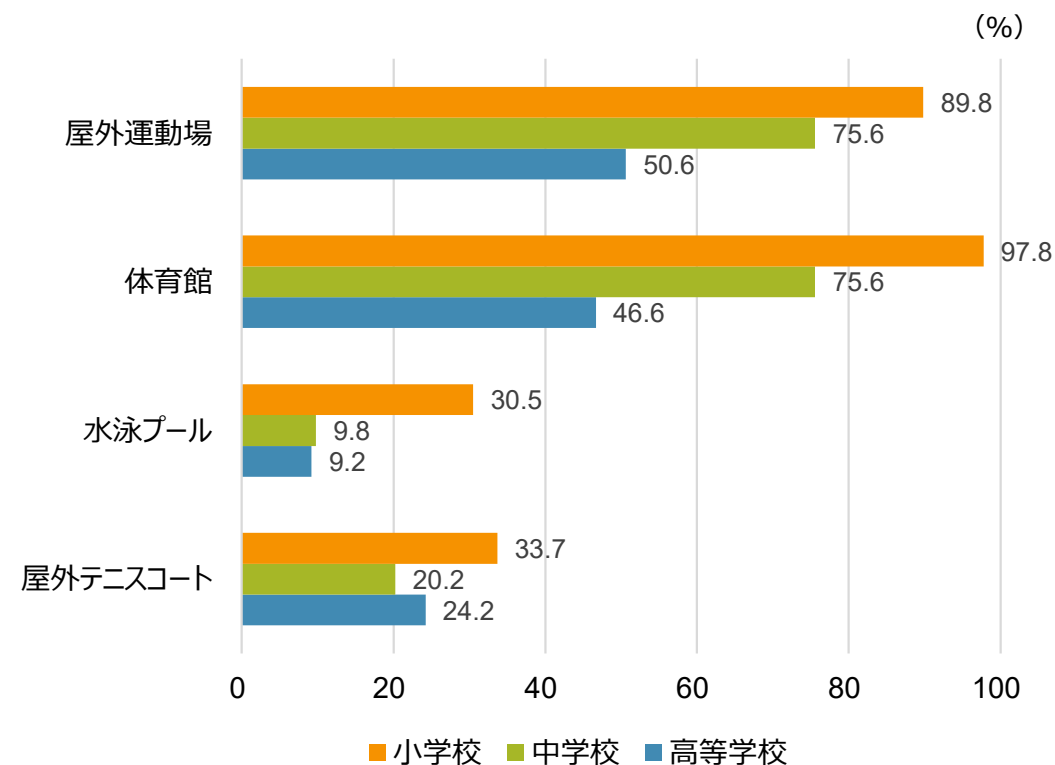
- ・我が国の学校体育施設の開放率は年々増加しており、既に高い水準。
- ・施設種別毎にみると、屋外運動場の約8割、体育館の約9割が地域に開放されており、いずれも高い水準。
- ・学校種別毎にみると、小学校が高く、次いで中学校、高等学校となっています。

学校体育施設（体育館）開放率の推移



※公立小中学校の体育館を対象として、開放事業実施率の推移を示している。

施設種別・学校種別毎の開放状況（平成29年度）

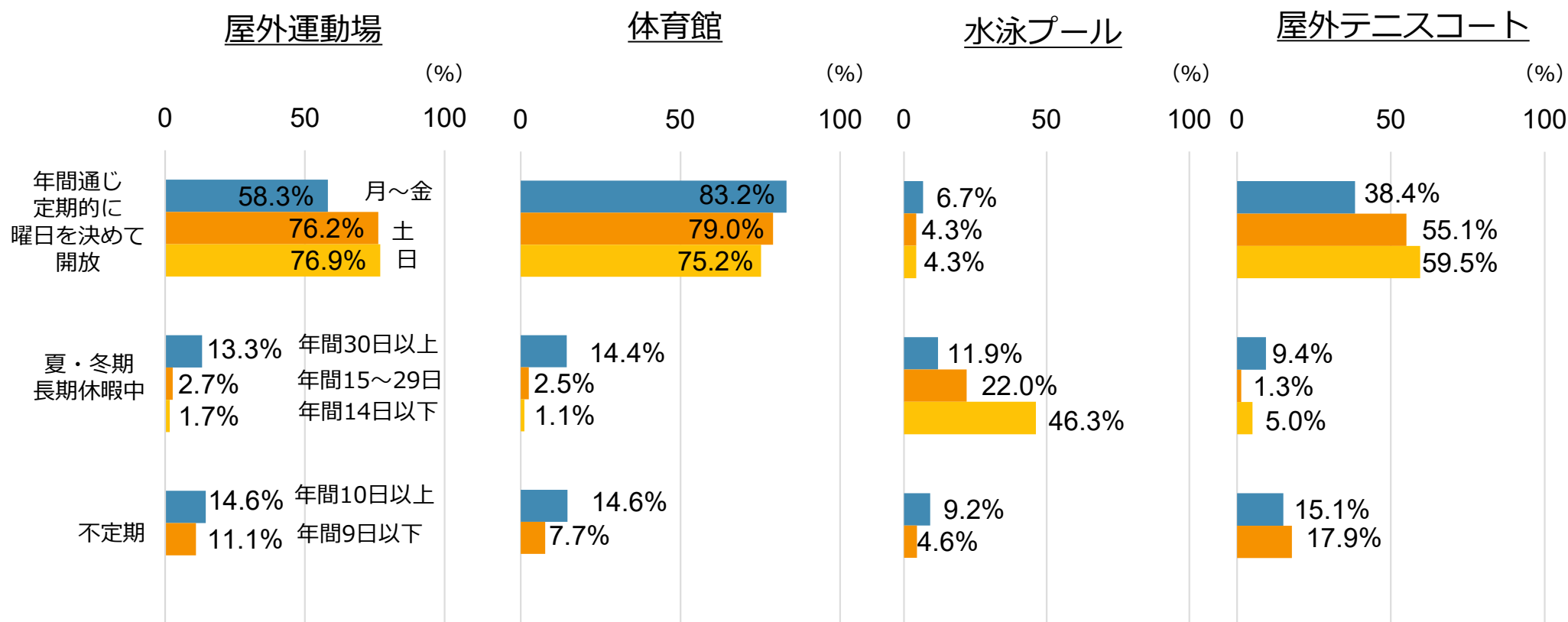


※公（組合立を含む）立小・中・高等学校を対象とする。

（出典）スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」

学校体育施設の開放頻度

- ・ 開放している学校体育施設のうち、屋外運動場と体育館は、年間を通じ定期的に曜日を決めて開放している施設の割合が約8割と高い水準。
- ・ 水泳プールは、約半数の施設が長期休暇中の限られた日数（年間14日以下）での開放。



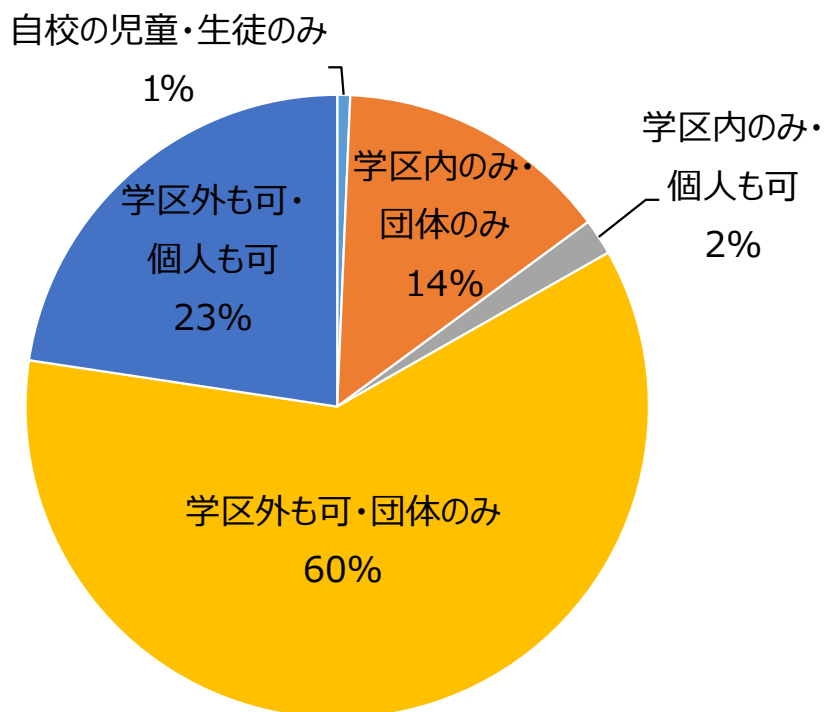
※開放事業を行っている公（組合立を含む）立小・中・高等学校体育施設の施設種別総数に対する割合。

（出典）スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」

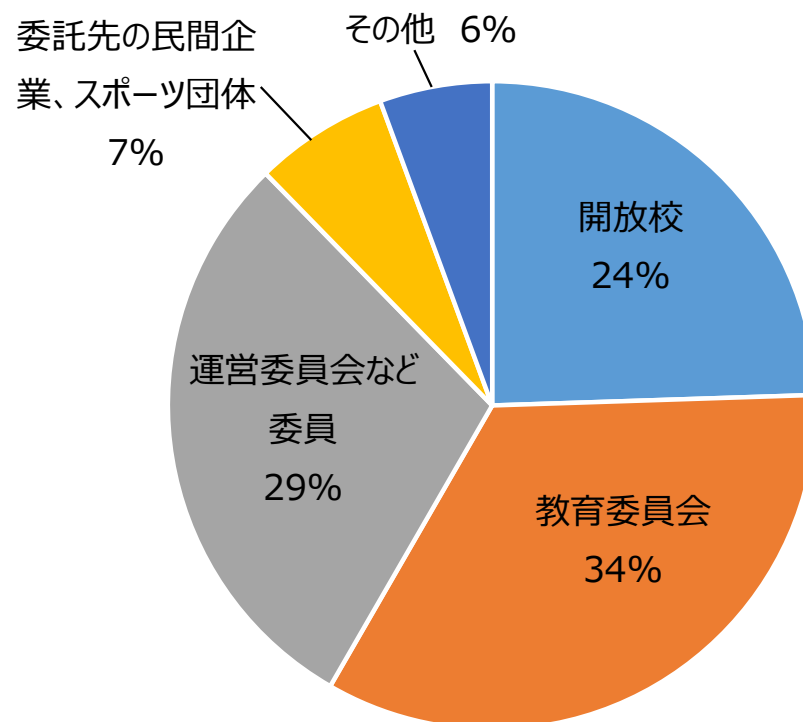
学校開放の対象・業務運営形態

- 学校開放の対象は事前に登録された団体限定である施設が多く、学区外も可という施設も多くなっています。
- 学校開放の業務運営形態は、教育委員会、運営委員会など委員がそれぞれ約 3 割、開放校が約 2 割となっています。

学校開放の対象（公立小中学校の体育館、平成29年度）



学校開放の業務運営形態（公立小中学校の体育館、平成29年度）

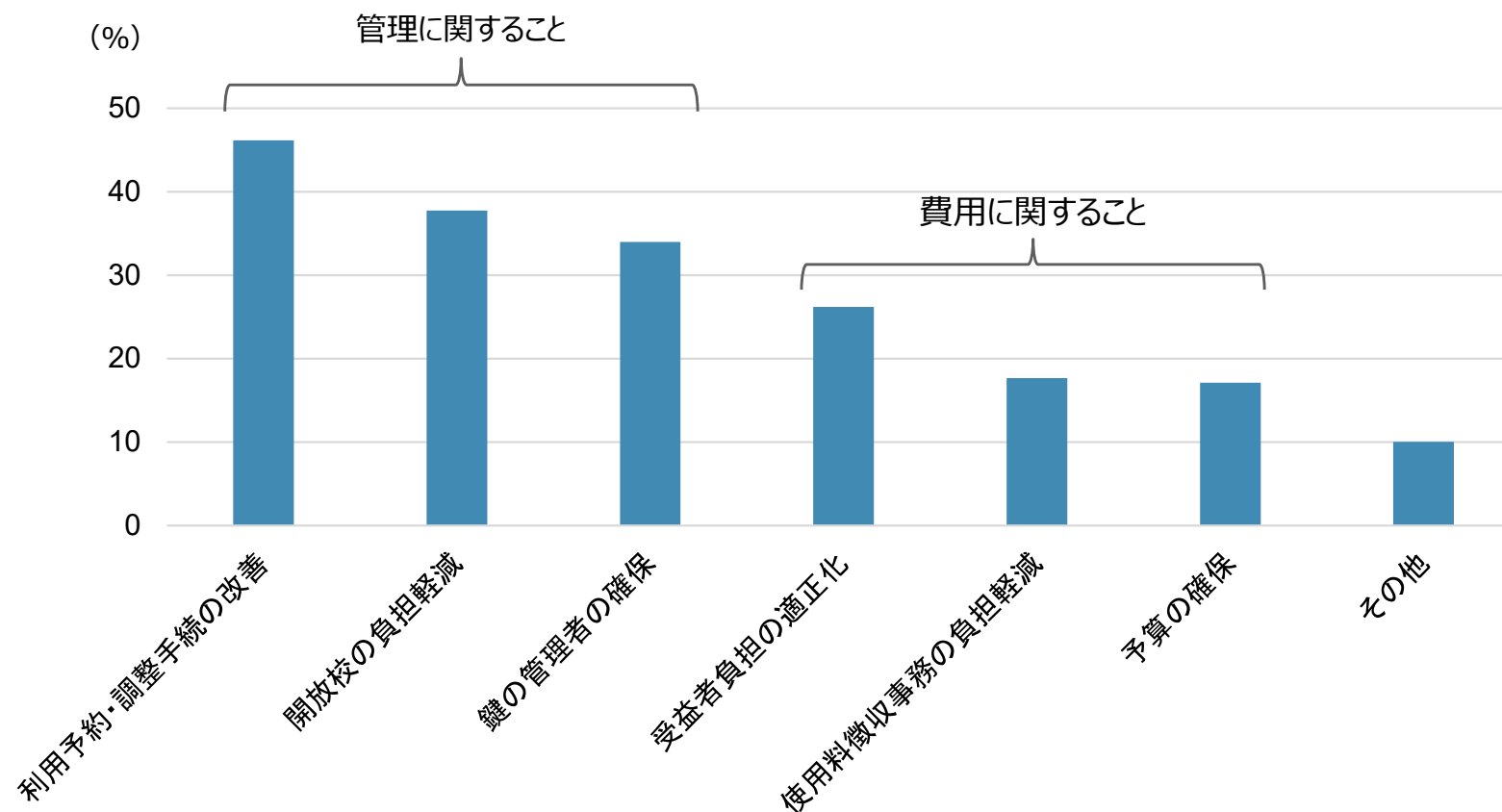


（出典）スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」

学校体育施設の開放に関する課題

- 学校体育施設の開放に関する課題については、学校開放の管理（利用予約・調整手続き、鍵の管理など）や費用に関することが課題として挙げられています。

学校体育施設開放の課題（市区町村・複数回答可、平成29年度）



（出典）スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」



2

学校体育施設の有効活用に向けた取組

学校体育施設の有効活用に関する手引き（令和2年3月）の概要

背景・目的

- 誰もが日常的にスポーツに参画することのできる機会の確保（スポーツ基本法、第2期スポーツ基本計画）
- スポーツを通じた健康寿命の延伸に対する強い期待（スポーツ実施率向上のための行動計画・中長期的施策）
- スポーツ施設の老朽化や財政難、人口減少等への計画的な対応（スポーツ施設のストック適正化ガイドライン）

スポーツ施設の約6割を占める学校体育施設について官民連携等の工夫を図り如何に活用していくかが重要

学校体育施設の有効活用に向けた検討・実施の際のポイントや参考事例を、
目的（モチベーション）・**運営**（ソフト）・**施設**（ハード）の観点から5項目に整理し、自治体担当者向けに提示。

※学校・施設種別ごとの傾向も踏まえた一般的な留意事項もあわせて整理

①学校体育施設をより広く利用してもらうための目的の明確化

地域のスポーツ環境充実、児童生徒への好影響、地域社会との連携推進等、施設活用の目的を幅広く検討し明確化する

■誰もが気軽にスポーツに親しめる社会へ ■地域で見守る学校施設（学校体育施設）へ

②安全・安心の確保

動線の分離等により児童生徒の安全を確保するとともに、リスク分担など安全安心確保のための体制を整備する

- 一般利用者と児童生徒の動線を分離する工夫
- 安全・安心確保のための体制整備

③持続可能な仕組みづくり

業務・事業としての明確化や、学校教育に支障ない範囲の指定管理等の工夫を図る

- 業務・事業としての明確化
- 学校や行政からの外部化
- 民間事業者等が参画しやすい環境づくり
- 適切な受益者負担の仕組みづくり

④利用しやすい環境づくり

利用日時や利用可能な対象者、実施可能な競技種目など、多様なスポーツ活動のニーズに対応し、ICTも利用して学校体育施設を最大限活用する

- 学校体育施設の多様な利用推進
- ICTを活用した利便性の向上

⑤新改築・改修時の留意点

新改築・改修時には、地域のスポーツ施設として機能、仕様等を検討（複合化、バリアフリー化やユニバーサルデザインへの配慮等）するとともに、PPP/PFI等の事業手法の導入についても検討する

■地域スポーツ施設としての整備 ■PPP/PFI事業の導入 ■学校開放事業を前提とした施設水準の確保

ポイント・有効活用方策（参考事例）

③持続可能な仕組みづくり（抜粋）

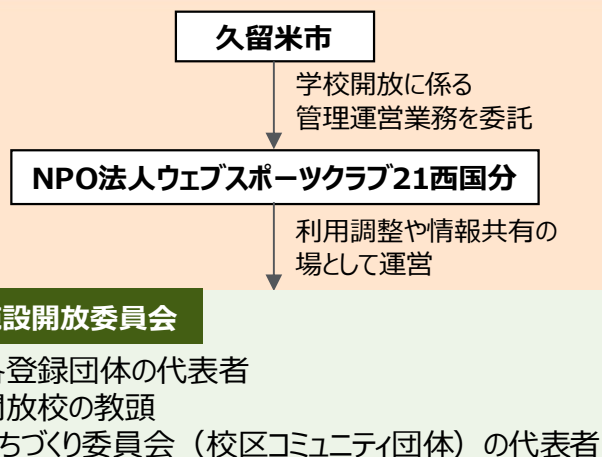
2 学校や行政からの外部化

- 学校施設開放事業の運用においては、教育委員会や学校に利用調整や鍵の管理などの負担がかかっている状況も見受けられる。
- そのため、学校教育に支障のない範囲で、学校開放事業における運営について、指定管理者制度や業務委託等を活用し、民間事業者や総合型地域スポーツクラブ、地域団体等に委ねていくことを検討することが望ましい。
- 学校開放事業において指定管理者制度を活用する場合には、各自治体において「学校施設使用条例」等を制定し、学校開放事業における指定管理者制度の適用を位置づけることが必要である。

参考事例 久留米市の総合型地域スポーツクラブへの委託スキーム



調整会議等を行う
クラブハウス内部の様子



- 久留米市では、市立学校施設の開放に関する規則において、総合型地域スポーツクラブに開放業務を委託してよい旨を規定。3つのクラブが学校開放の管理運営を行っている。
- 学校からは教頭等の管理職が毎月の調整会議に出席するが、調整会議の準備や進行はクラブが実施。利用調整や利用者への指導もクラブが行っており、学校の負担は比較的軽い。

3 民間事業者等が参画しやすい環境づくり

- 官民連携での学校開放事業の推進は、担い手となる民間事業者等にとっての事業参画のメリットがなければ困難である。
- 業務範囲の拡大、対象施設の包括化、民間による自主事業の実施条件の緩和や利用枠の確保など、民間事業者等が学校開放事業に参画しやすい環境整備が求められる。
- 学校体育施設の民間事業者等による有効活用を促進するためには、民間提案制度（民間事業者等から事業や手法の提案を受けるもの）などを活用することも考えられる。

参考 学校体育施設を活用する事業について民間からの主な要望・意見

類型	主な要望・意見
利活用しやすい施設とすること	- 水泳プールについて、温水プールでなく簡易なものでも屋内化ができれば、利活用期間を延ばすことができる。 - 施設管理やセキュリティの機械化、自動化を図ることができると、管理コストを抑制した管理運営が可能となる。
柔軟なプログラム等の提供	- 最も重要なのはプログラムの提供である。一定枠を確保しておかないと、運営会社も参入しづらい。 - 総合型地域スポーツクラブが学校体育施設の管理をし、クラブのプログラムなどが展開出来るとよい。
適正な利用料金の徴収	- 管理者の人件費に充てられる程度の利用料金は徴収する必要がある。 - それによって、担い手の確保、人員の雇用なども可能となる。
他の施設・業務との包括的な委託	- 近隣エリアをまとめて一つの団体・組織が受託することで、スケールメリットが出る。特に学校プールについては老朽化が進んでいるため、集約化を進めたほうが管理コストが低減できる。 - 部活動の支援、学校体育の授業の支援などと合せて、学校の管理や開放事業の実施が行えると良い。
民間の提案を柔軟に受けられる環境づくり	- 民間事業者のモチベーションを阻害しないよう、その独自のやり方を許容するようなフレキシブルさを持つべきではないか。 - 民間事業者からの提案を受け止めて取組みを検討する対話型の官民連携事業を進めていくべき。

④利用しやすい環境づくり（抜粋）

1 学校体育施設の多様な利用推進

- 現在の学校体育施設は、一般利用を認めている場合でも、事前に登録された団体による利用を条件としているケースが多いが、スポーツ参画人口の拡大のためには、団体登録の手続きを簡素化したり、個人が気軽に利用できるような環境を整えていくことが必要である。
- 個人利用の促進においては、学校施設を個人に利用してもらう際のコーディネート機能を果たす民間事業者等や総合型地域スポーツクラブ、地域団体等が関与することが望ましい。
- また、幼児の遊び場、児童生徒の放課後の居場所など、地域のニーズを踏まえて、多様な利用を検討していくことが求められる。
- 施設の有効活用やスポーツ参画人口拡大の観点からは、現在は制限されていることの多い民間事業者等によるプログラム提供などの利用についても、例えば地域の団体による使用がない場合に限定する、営利事業と非営利事業で利用料に差をつけるなど、一定のルールのもとで受け入れることを検討することが望ましい。
- 民間事業者等の事業を認めることで、財政負担の軽減への寄与や、市民のスポーツ参加を促す民間ノウハウの活用などが期待できる。

参考 民間事業者等活用の位置づけ

学校における働き方改革に関する取組の徹底について
(平成31年3月18日30文科初第1497号文部科学事務次官通知)

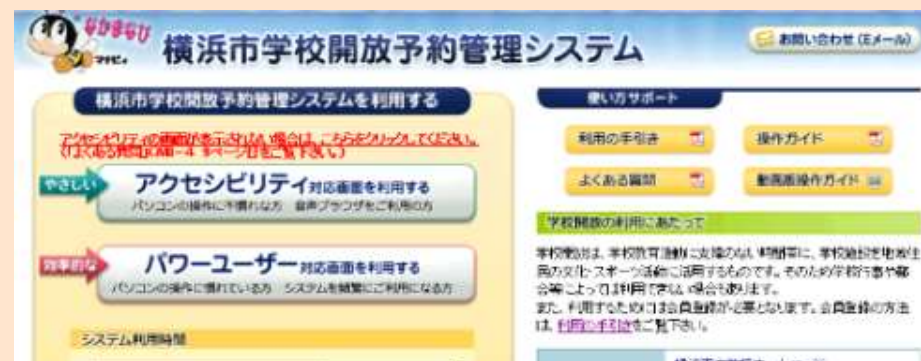
2. (2) ⑦

(前略) 学校施設の地域開放に当たっては、地域の実態に応じ、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)等の活用、教育委員会による一元的な管理運営、業務委託や指定管理者制度による民間事業者等も活用した官民連携等の工夫により、管理事務における学校や教師の負担軽減を図りつつ、地域の財産である学校施設の地域開放を推進すること。

2 ICTを活用した利便性の向上

- 学校施設開放事業の利用については、利用手続き等が一般にわかりにくいといった指摘があることから、施設の稼働率を高めるためにも、ICTを活用することにより、予約や申し込みの方法、空いている時間等の情報を広く開示し、柔軟な利用予約等が行える環境を整備することが効果的と考えられる。
- また、維持管理にかかる負担軽減の観点からは、電子錠の設置やセキュリティシステムの導入など、ICTを活用した新たな技術の導入を検討することが考えられる。

参考事例 横浜市の学校開放予約管理システム



【なかまなび | 横浜市学校開放予約管理システム】

- 横浜市の学校開放事業は、市民利用施設とは異なり、地域住民や登録団体が中心となって「文化・スポーツクラブ」を組織し、自主・自立的に運営。
- 利用を希望する団体等は、希望する学校の文化・スポーツクラブ登録団体となる必要がある。利用団体登録申請書に必要事項を記入し、希望する学校の文化・スポーツクラブに提出。
- その後、パスワード等の発行が行われ、「なかまなび」から利用予約等を実施。
- 文化・スポーツクラブは、管理者画面から、予約申請状況等を確認することができ、学校開放事業の利用調整の合理化を図ることができる。

学校体育施設の有効活用推進事業

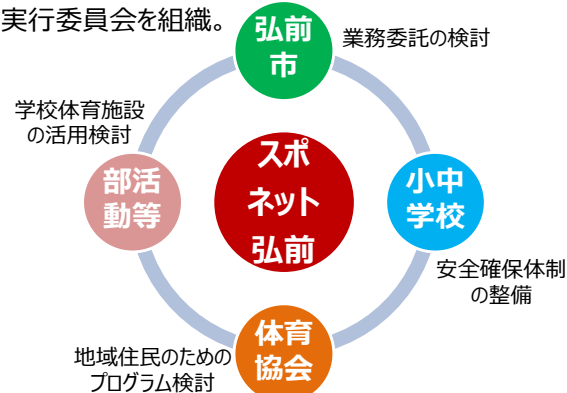
- 「学校体育施設の有効活用の手引き」を踏まえ、行政の負担軽減だけでなく、適切な料金設定、民間のノウハウを活かした事業性の高い運営の導入なども含めた**持続可能な仕組みのモデル事例を実証研究を通じて構築**するもの。
- 令和2年度は以下の3団体を採択。令和3年度は4団体で実施中。

スポネット弘前

(青森県、総合型地域スポーツクラブ)

過疎地域小規模校の学校体育施設の広域連携した有効活用による、全世代のスポーツ実施率向上

- 部活動の減少により子供のスポーツ実施率が低く、成人のスポーツ施設利用も少ない、弘前市河西地区（小学校8校、中学校4校）を対象に実施。
- 全ての世代がスポーツに親しめる環境づくりを目指し、学校体育施設を有効活用する官民連携の仕組みを検討。
- 将来的には学校体育施設を拠点としたソフト事業も提供予定。
- スポネット弘前を中心に、弘前市スポーツ振興課、教育委員会、河西地区小中学校、スポーツ少年団・部活動関係者、地区体育協会、町内会等で運営委員会・実行委員会を組織。

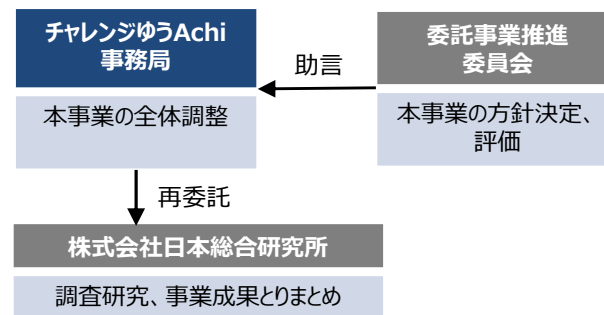


チャレンジゆうAchi

(長野県、総合型地域スポーツクラブ)

総合型地域スポーツクラブによる学校体育施設の有効活用（部活動後の活動支援等）

- 現在開放している学校体育施設（中学校体育館）を活用したスポーツプログラムの充実。
 - 中学校部活動後の「阿智中クラブ」新設
 - 新規利用者獲得のため、ニーズ分析を踏まえたスポーツ教室の改善・拡充
 - 指導者や保護者の指導力向上
- 中学校体育館の施設管理手法の検証・改善。
- チャレンジゆうAchiが主体となり、委託事業推進委員会（教育委員会、中学校関係者、スポーツトレーナー、大学教授等）の助言を受けながら実施。調査研究業務等を日本総研に再委託。

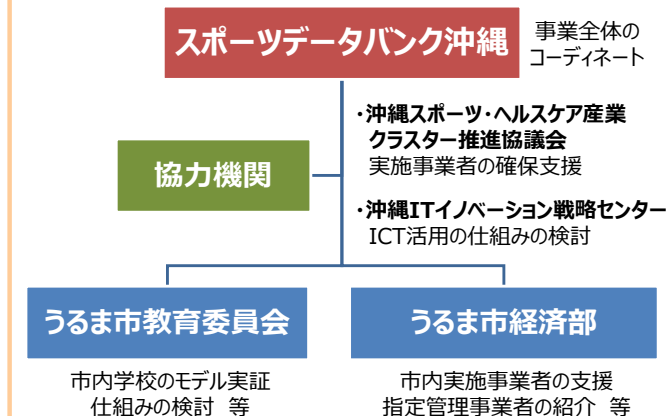


スポーツデータバンク沖縄

(沖縄県、株式会社)

ICTを活用した学校体育施設の有効活用モデルの実証及び効果検証

- うるま市内の実証フィールドとしてモデル校を選定し、民間事業者による学校施設を活用した幅広い世代向けのスポーツイベントを開催。
- イベント開催予約や参加予約等の「予約管理」や「鍵の管理」においてICTを活用。
- 実証結果をもとに、ICTを活用した管理システムの導入やスポーツ事業者からの収入（施設使用料）等を踏まえた、全体の費用対効果の検証。
- うるま市、教育委員会、学校長、体育協会、民間事業者等で構成された有識者会議を設置。

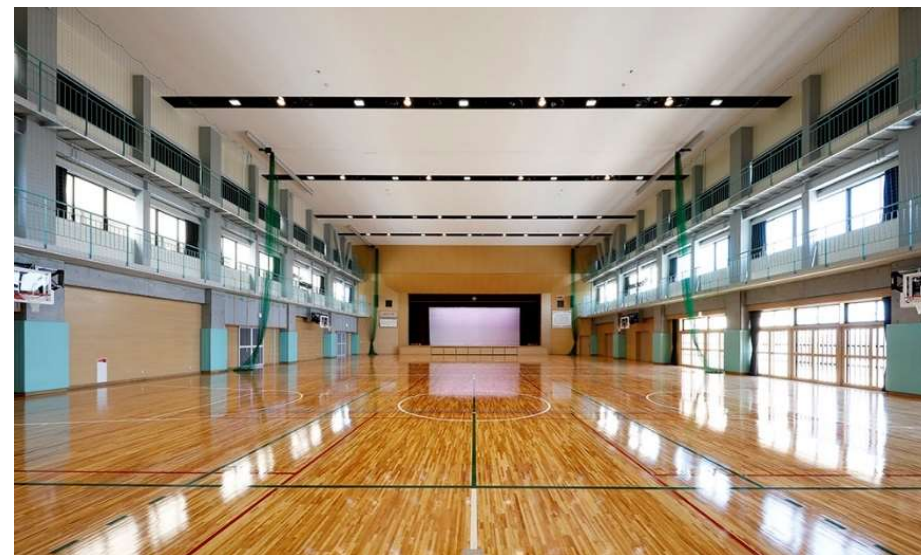




参考事例

PFI方式による小学校と地域交流施設の複合化

高浜小学校等整備事業（1/2）



概要

- 2014年に策定された「高浜市公共施設あり方計画(案)」の中で、高浜小学校の整備は、老朽化が顕著な小学校の建替えに合わせ、他の公共施設との複合化を図るためのモデルケースとして位置付けられている。
- 高浜小学校を核とした多目的利用ができる施設を整備・創出するため、PFI 法を適用することにより、効率的かつ効果的な事業実施を目指している。
- 新校舎は、既存校舎の南側に建設。体育館は、メインアリーナとして建替。プールは設置せず、水泳の授業は校外の民間プールを活用。複合施設としてサブアリーナ・児童センター等を新設。
- 公民館の貸館機能を集約、メインアリーナは小学校と共同利用することで、公共施設を圧縮しつつ、行政サービスを維持。

※出所：高浜市ホームページ、あおみが丘コミュニティ株式会社ホームページ

施設名	高浜市立 高浜小学校		
工事期間	2018年1月～ 2021年3月	維持管理 期間	～2034年3月
担当部署	高浜市 教育委員会 学校経営グループ		
施設規模	建築面積：7,087.52㎡ 延床面積：11,853.02㎡ ※屋外施設を含む総合計		
整備運営手法	PFI-BTO方式		
PFI事業費	約44億円 ※総合評価一般競争入札 落札額		
主要施設	学校施設:校舎、メインアリーナ、運動場 地域交流施設:サブアリーナ、児童センター		

PFI方式による小学校と地域交流施設の複合化

高浜小学校等整備事業 (2/2)

小学校、地域交流施設の配置計画



※出所：高浜市ホームページ、あおみが丘コミュニティ株式会社ホームページ

複合施設と併設する学校体育施設の地域開放

港区立芝浦小学校施設整備事業（1/2）



概要

- 港区立芝浦小学校通学区域内の児童数は年々増えており、芝浦小学校の教室数は不足することが想定されている。そのため、みなとパーク芝浦※1の芝生広場（旧文化芸術ホール計画地）に新設校を設置することとなった。
- 学校関係者、小学校、幼稚園のPTA役員及び地域の代表等による策定委員会を設置し、基本構想・基本計画を策定。
- 小学校としての独立性を保ちつつ、みなとパーク芝浦や芝浦公園等の周辺環境と連携して、学校体育施設を地域へ開放できる計画・機能構成となっている。
- 2022年4月に開校予定。

※1 みなとパーク芝浦は、港区スポーツセンター、芝浦港南地区総合支所、港区立消費者センター、港区立介護予防総合センター「ラクチャ」、港区立男女平等参画センター「リーブラ」等で構成される複合施設（2014年竣工）

※出所：港区ホームページ

施設名	港区立 芝浦小学校		
工事期間	2019年7月～ 2022年1月	開校日	2022年4月予定
担当部署	港区 教育委員会事務局		
施設規模	地下1階、地上9階、PH1階（9階は屋上校庭） 建築面積：1,723.99㎡ 延床面積：12,256.81㎡		
整備費	約100億円 ※制限付一般競争入札 落札額		
主要施設	普通教室（24学級）、多目的室、特別教室、体育館、屋内プール、屋上校庭、放課GO→クラブ※2、プレイルーム ※2 放課GO→クラブは、港区立小学校の施設を利用し、下校後、保護者の就労などの事情で、家庭での保護を受けられない児童の日常生活と健全育成の場		

複合施設と併設する学校体育施設の地域開放

港区立芝浜小学校施設整備事業（2/2）

学校体育施設の地域開放

■ 学校体育施設

➢ 屋上校庭

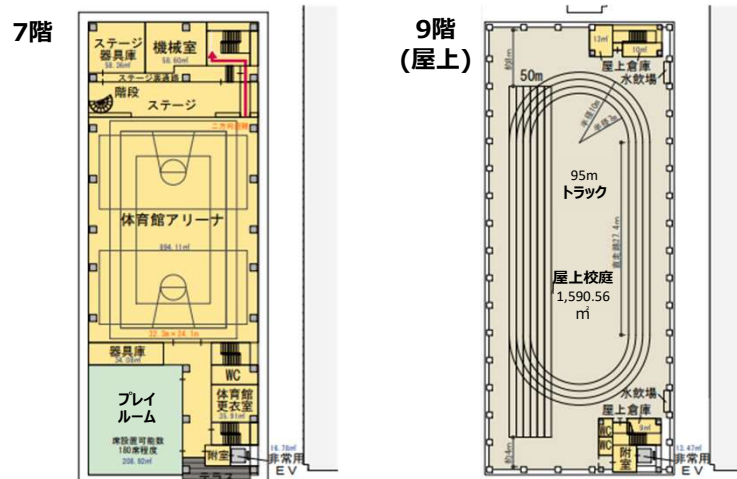
95mトラック、直線50m、防球ネットを設置し、体育授業や地域開放等に利用

➢ 体育館

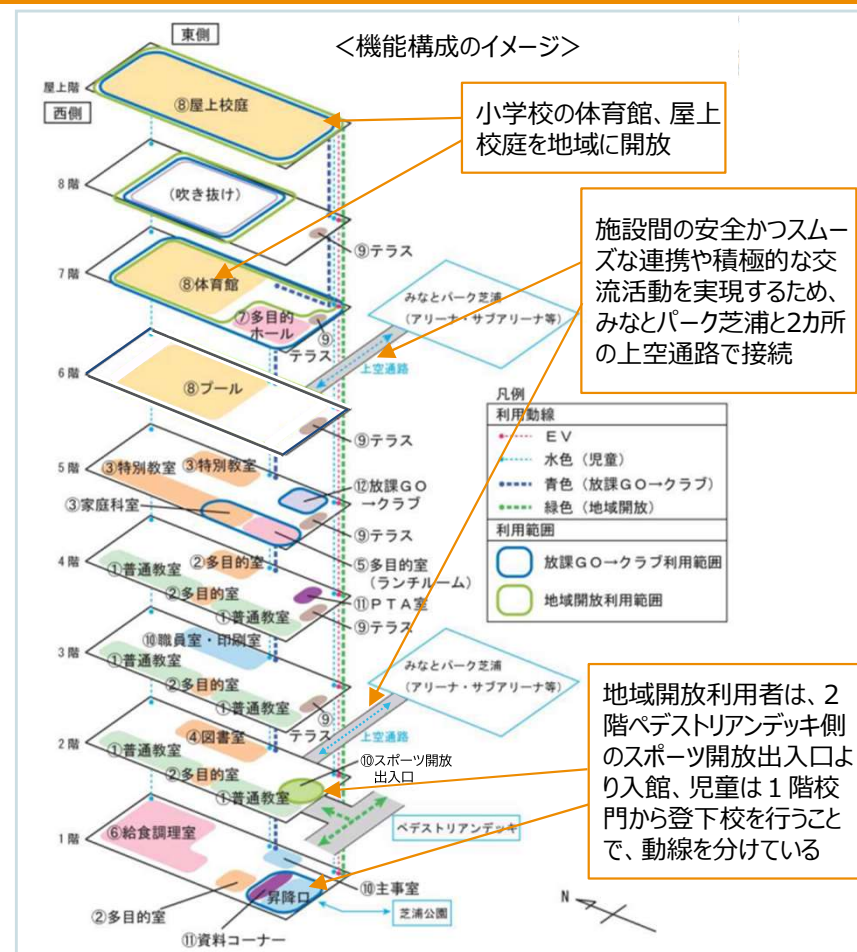
学校行事や授業時だけでなく、地域スポーツ開放や“放課後GO→クラブ”など幅広い目的に対応



＜学校体育施設の平面計画＞



※出所：港区ホームページ、港区スポーツセンターホームページ





令和 4 年度の施策紹介

誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業

令和4年度予算額（案） 60,000千円
（前年度予算額 60,000千円）



地域のスポーツ施設の老朽化、財政の制約、人口減少・高齢化による住民ニーズの変化等がある中、持続可能な地域におけるスポーツ環境を確保・充実していくため、公立スポーツ施設だけでなく、学校体育施設・民間スポーツ施設など既存ストックのフル活用、スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の推進等を総合的に実施し、**誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくりを推進する。**

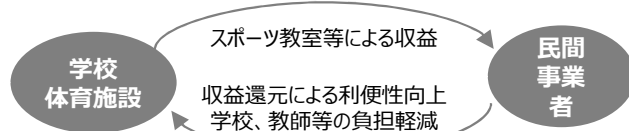
<事業内容>

① 学校体育施設の有効活用推進事業 【継続】

「学校体育施設の有効活用に関する手引き」を踏まえ、**モデルとなる先進事例の形成**を行い、学校体育施設を地域のスポーツの場として有効活用する取組を推進する。

<モデル事業のイメージ>

- 一定の収益活動の導入と収益還元による事業の持続性向上
- デジタル技術の活用による利便性向上、学校等の負担軽減
- 体育館・校庭に加え、プール・テニスコート・武道館の開放促進



② スポーツ施設におけるユニバーサルデザイン化等推進事業【新規】

年齢や性別、能力等に関係なく施設を利用しやすくするユニバーサルデザイン化を推進するため、ハード・ソフト両面において配慮すべき事項や取組事例を収集整理し、**ガイドブックに取りまとめる**とともに、**セミナー等による普及啓発**を行い、現場での対策を促進する。

<取組事例のイメージ>

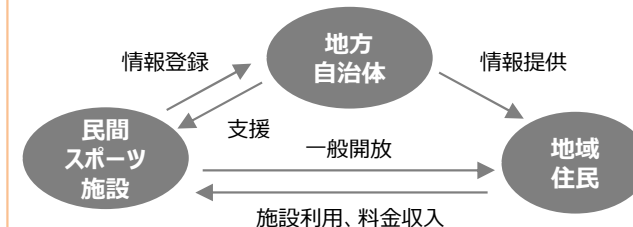
- ハード面の更新・改修（更衣室、授乳室、観客席等）
- ソフト面の施設管理者の対応（障害者スポーツの支援等）



③ 民間スポーツ施設の公共的活用推進事業 【継続】

民間スポーツ施設※を地域のスポーツの場として公共的活用する方策を検討するため、**実態調査やモデル事業のケーススタディ**を実施する。

<公共的活用のイメージ>



※個人所有の町道場や球技場、企業所有の福利厚生施設を想定

<スポーツスペース・ボードレス プロジェクトの全体概要> ※赤字は、本予算関係

スポーツ施設の**中長期的な計画**の策定促進

- 全体最適を踏まえた**個別施設計画の内容充実**、当該計画に基づく集約・複合化等の推進
- ハード支援における個別施設計画策定の要件化

スポーツ施設の**安全・安心**の確保

- 避難所等となるスポーツ施設の耐震化・長寿命化対策の推進
- スポーツ施設の老朽化等に伴う事故の防止対策の徹底

スポーツ施設の**快適性・利便性**向上

- ハード・ソフト両面でのユニバーサルデザイン化の推進**
- 民間の資金・ノウハウも活用したスポーツ施設の魅力向上の促進

あらゆる空間でのスポーツ環境創出

- 放課後や休日の学校体育施設の有効活用の推進**
- 民間スポーツ施設の公共的活用**
- 公園等のオープンスペースの活用

スポーツの場における**DX化**の推進

- デジタル技術やデータ活用による新しいスポーツの楽しみ方の推進
- スポーツの場、イベント等の情報に関するスポーツポータルサイトの開設

- 「大学スポーツ」は、単に一部の学生アスリートにとってのみ重要なものではなく、大学全入時代の中で、多くの学生が大学スポーツを通じ社会的人材の育成といったスポーツの価値・効用を得ることができる貴重なものである。また、大学は素晴らしいスポーツ資源(人材、施設、知識など)を有し、大学スポーツを通じて地域社会の発展を支える存在として地域で重要な地位を占めている。
- 新たなスポーツ基本計画の初年度であり、大学スポーツ政策の転換点となった大学スポーツの振興に関する検討会議最終とりまとめから5周年となる令和4年度では、「大学スポーツ自体の振興」と「大学スポーツによる地域振興」とを総合的に支援し、UNIVASと連携・協力し、「感動する大学スポーツ」の実現を目指す。

<事業内容>

大学スポーツ振興事業



「感動する大学スポーツ」 の実現

大学スポーツの振興

- ①安全・安心な大学スポーツ環境の確立促進等
(大学スポーツへの大学の適切な関与・支援体制の検討など)
- ②大学スポーツ・ムーブメントの創出
(基礎調査、検討分析など)

大学スポーツによる地域振興

- 大学スポーツ資源の活用による地方創生の促進
・大学がその有するスポーツ資源(人材、施設、知識)を十分に活用し、自治体等の地域の組織とも連携・協力した地域振興の取組をモデル的に実施・検証分析し、成果の全国への横展開を促進 など

※その他(大学スポーツ統括団体活動支援事業)

大学スポーツ統括団体として、大学スポーツ全体の価値をさらに向上させていく観点から、UNIVAS(一社・大学スポーツ協会)が実施する大学スポーツ振興のための普及啓発の活動の一部(大学スポーツ安全・安心認証の普及啓発、大学スポーツにおける暴力・パワハラ、性的写真・動画、不正の防止や、大学スポーツ環境のユニバーサルデザイン化の普及啓発、大学スポーツの価値の普及啓発等)に対して補助

＜主旨・背景＞

- 今後多くの公共施設等が老朽化による更新時期を迎える中、公共負担の抑制に資するPPP／PFI事業の推進については、良好な公共サービスの実現・新たなビジネス機会の創出も期待できることから、「PPP／PFI推進アクションプラン」（令和3年6月 民間資金等活用事業推進会議決定）等において求められている。
- 文部科学省においては、文教施設におけるPPP／PFI事業の案件形成を図るため、**地方公共団体等の多様なPPP／PFI事業の検討段階を支援するとともに、先導的な事業の収集・分析を行い、その成果を全国に発信・普及**する取組を実施する。特に①施設の維持管理に関する包括的民間委託事業、②集約・複合化に関する事業、③カーボンニュートラルに資する事業、④コンセッション事業、⑤小規模な地方公共団体における事業等が求められている。

文教施設における多様なPPP／PFIの先導的開発事業

多様なPPP／PFI事業の推進のため、先導的な事業の具体的な検討を支援

先導的開発事業の実施

多様なPPP／PFI事業導入のプロセス

検討段階

1.事業の発案

2.具体化の検討

PPP／PFI手続

事業実施

事業の内容

地方公共団体等における多様なPPP／PFI手法の導入が進むよう、地域や施設の特性等を踏まえ、**事業手法の検討など「事業の発案」**や、**事業スキームの開発など「具体化の検討」**を実施

1. 事業の発案

（具体的な検討例）

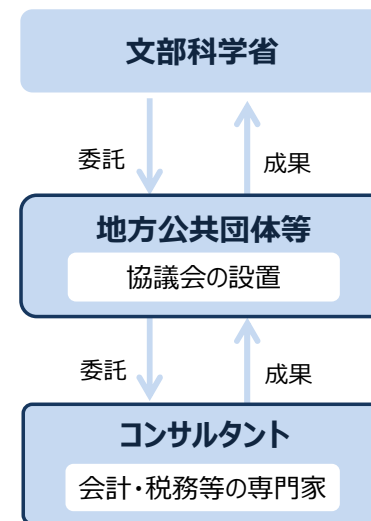
- 事業手法の検討（目的の明確化、検討体制や意思決定プロセスの構築、施設整備・維持管理方針の検討、事業手法の比較・検討等）
- 導入の判断基準（スケジュール、導入効果やVFM算定方法の検討等）
- 民間事業者へのインセンティブ（創意工夫を引き出す仕組み、収益の分配、複合的な運営の検討等） など

2. 具体化の検討

（具体的な検討例）

- 事業スキームの開発（期間・範囲、VFMの算定、リスク分担、情報開示、法令上・会計税務上の課題整理等）
- 民間事業者の意向調査（専門的人材の確保の検討等） など

事業の仕組み



＜実施体制イメージ＞

- ① 地方公共団体等において、協議会の設置
- ② 文部科学省は、協議会の設置・運営に必要な費用や、会計・税務等の高度な専門的知見を要する調査を行うための費用を支援するとともに、先導的な事業の収集・分析
 - ・協議会の設置・運営に係る経費（諸謝金、旅費、会場借料 等）
 - ・専門的な調査に係る経費（コンサルティング会社等への委託費）
- ③ 地方公共団体等は、協議会を構成する関係者間で十分な連携を図り、調査・検討を行うとともに、事業の進行管理を実施
- ④ 国は、事業の成果を全国に発信・普及

【事業の委託先】

地方公共団体等（公共施設等の管理者である地方公共団体、公共施設等の整備等を行う独立行政法人及び国立大学法人等）

【対象となる事業】

- ①施設の維持管理に関する包括的民間委託事業
- ②集約・複合化に関する P P P / P F I 事業
- ③カーボンニュートラルに資する P P P / P F I 事業
- ④コンセッション事業
- ⑤小規模な地方公共団体における P P P / P F I 事業等

※この他にも整備、運営手法の検討に専門家の知見が必要な事業は該当する可能性があります。

【公募スケジュール】

公募開始：令和4年2月7日（月）

公募締切：**令和4年3月10日（木）12時**

契約締結：令和4年5月下旬頃

契約期間：契約締結日から令和5年3月16日（木）まで

【公募情報掲載ページ】 <https://pf.mext.go.jp/gpo3/MextKoboHP/list/kp010000.asp>

- ◆ 学校体育施設の有効活用（手引き・委託事業報告書）
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/1380329_00001.htm
- ◆ 地域におけるスポーツの場づくりに関するオンラインセミナー資料
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/jsa_00001.html
- ◆ スポーツ庁 令和4年度予算（案）主要事項
https://www.mext.go.jp/sports/content/20220117-000019951_01.pdf
- ◆ スポーツ庁公募情報
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/boshu/index.htm
- ◆ 文部科学省公募情報
<https://pf.mext.go.jp/gpo3/MextKoboHP/list/kp010000.asp>

スポーツが変える、未来を創る。

Enjoy Sports, Enjoy Life



御清聴ありがとうございました。